

今月のコラム

エクステリア&ガーデン業界の 企業と人をマッチング 「みどりの就活」について

E & Gアカデミー (株)E & Gソリューション
代表取締役社長 小松 正幸



「業界の課題は人手不足」

現在、花や緑にかかわる業界では、人手不足が深刻な課題となっており、エクステリア&ガーデンの専門校であるE & Gアカデミーへも人材採用の問い合わせが増加しております。

私たちの業界の課題点は、仕事の認知度不足と労働環境にあります。認知度という点では、学生などのアンケート調査などからもガーデン・エクステリア業種の認知度は低く、PR不足は否めません。

今はリクナビやマイナビといった就活サイトはもちろんのこと、合同企業説明会なども盛んで、最近では飲食、ホテル、小売店、ペットなど、各業界に専門的就活サイトがあり、新卒採用を強化しています。専門スキルが必要な業界では特に、一般的な就活サイトでは企業と人のマッチングがうまくいかないことが多く、募集にかかるコストも増加傾向です。企業がより良い人材と出会うために、業界に特化した就活の場が求められているのです。ところが、エクステリア&ガーデンの業界には、そうした専門的就活サイトも合同企業説明会もありません。

そこでE & Gアカデミーでは、若くて優秀な新卒者を中心に採用の支援をしていくことを目的に、「みどりの就活」という企画をスタートいたしました。

「みどりの就活の目的」

1. 業界に特化した新卒中心の人材採用・育成を支援することにより企業・業界の活性化を図る
2. 学生、一般に対しエクステリア・ガーデンの仕事の認知度UPを図る
3. 業界における労働環境の改善を目指す

■求人対象：エクステリア・造園・園芸業界の設計施工企業、メーカー、流通企業、小売店など

■求職対象：大学、短大、専門学校、高校の新卒者、転職希望者(若年層)、E & GアカデミーOBなど

具体的な動きとしては、「みどりの就活WEBサイト」を中心に、合同企業説明会、採用コーディネート、入社前研修といった各種フォローを行い、採用から研修までをトータルでサポートしていきます。

企業側にとっては、専用サイトで効率良く必要な人材を見つけることができ、成功報酬型(採用時)で募集のコストも抑えられます。合同企業説明会「みどりの就活フォーラム」には、花と緑の仕事に関心のある求職者だけが集まるので、またとないマッチングの場になるはず。人材の衰退は業界の衰退につながるため、ぜひ、将来を担う人材と出会う場としてご活用ください。

業界初の合同企業説明会・就活セミナー「みどりの就活フォーラム」

日時：平成29年6月6日(火)午後1時から4時半まで

場所：東京都港区青山の青山ラビュタガーデン

4月中旬時点で、エクステリア設計施工会社の最大手「グリーンライフ産業」園芸小売りレンタル大手の「ユニバーサル園芸」はじめ、造園、リフォーム、園芸資材卸、園芸店、ゴルフ場管会社など、十数社の企業が出展を決め、出展検討中の企業も多数。一方、来場促進も求職者である大学や専門学校、高校などへの案内が始まっており学生からの関心も高まっております。

問い合わせ TEL：03-5411-7892 みどりの就活係 担当 新田、向笠 <http://midori-shukatsu.com/>



カエデ
kaede

平成 29 年度 ガーデンを考える会 — 通常総会開催

総会記念セミナーは3名の講師による講演です。どうぞお誘いあわせの上、ご参加ください。

『フラワーツーリズム ‘個性と強みを生かした誘客戦略’』



(株)足利フラワーリゾート

代表取締役社長

早川 公一郎 氏

近年、日本においては観光産業が活発化し、今後大都市のみならず地方都市が観光で担う役割は大きくなっている。地域としての資源を磨き上げ活用していくことは都市間競争の中で必須になっていく。あしかがフラワーパークは開園20周年を迎え、現在では年間150万人を国内、そして世界から集客している。どちらかという厳しい時期の方が長かった中で、如何にして今の状況まで成長することが出来たのか。

『自産自消のある生活が世界の農業を変える?!』『2020年の日本の農業未来予想図』

(株)マイファーム

代表取締役社長

西辻 一真 氏

- ①自産自消のある生活とはどんな生活か、それが広がった時の社会の変革や農業界に与える影響は。
- ②農業界で活動をしながらも、政策立案や政策審議委員を務め、日本の農業に関わっていることで得られる最新の農業トレンドや未来の世界の農業の勢力図などをお話します。



『「官から民へ」政策で市民公園の運営が変わる今、花と緑の価値をどのように高めてゆくか』



(株)日比谷花壇

代表取締役社長

宮島 浩彰 氏

公共施設運営に民間の知恵を取り入れる「指定管理者制度」がスタートしました。公園は園内の庭園や植物園などハードの魅力で集客することのみならず、地域の財産として地域コミュニティの活性化や、地域の交流拠点として賑わいづくりに資するよう、より多面的かつ有益な活用が求められています。この変革期に当社が何を狙い、どのような戦略で花と緑の存在価値を高めようとしているのか？ 地域の発展に資する公園とはどうあるべきか？

日時 2017年6月9日(金) 13:00~14:00総会、14:00~17:50セミナー、18:00~19:30懇親会

場所 総会・セミナー：浅草橋共和会館 3階C室 / 懇親会：浅草橋ベルモントホテル

参加費 セミナー・懇親会 会員1社1名無料(会員2名以上/非会員1名につきセミナー2000円・懇親会3000円)

申込み ガーデンを考える会事務局 mail:npgarden@green-joho.jp TEL:052-571-7911 FAX:052-571-2208



ガーデンを考える会研修セミナー報告

開催日：2017年3月8日(水) PM13時～
場所：豊明花き
参加者数：34名



生産者に聞く植物セミナーと題し2部構成で行い、第一部は「クレマチスがすてき」として愛知県土岐市在住の杉本公造氏にお願いし凡そ1時間10分の講演が行なわれました。

自社製のカタログに添い大輪系品種から小輪形品種の説明が行なわれ遅咲き種早咲き種に付いての説明や、庭植えする際のポイントを経験から得られた事象を交えてやってはいけない事等も交え説明をされた。また植え替えのポイントは根鉢を崩さない、細い根の品種ほどガラガラの培養土が良い、といった分かりやすい説明がありました。

第2部は「ブルーベリーと椿のお話」として愛知県安城市在住の山下直木氏に同時間で講演を頂いた。品種の特性からこの辺りではラビットアイ系をお勧めすることや、植え替えの基本などについてもお話いただいた。10号の大鉢を持ち込んでいただき、選定の実演もいただき大変参考になったと受講者から好評であった。

研修委員会 豊明花き(株) 村雲 俊作



「第2回フラリエみらい花フェスタ」出展の報告

4月13日(木)～16日(日)に名古屋栄にある久屋大通庭園フラリエにて開催された「第2回フラリエみらい花フェスタ」にNPO法人ガーデンを考える会として出展しました。

当日は豊明花き(株)、(有)水谷農園、(株)ハイポネックスジャパン、中島商事(株)の計4社がそれぞれブースを構え、商品PRや園芸に関するアンケートを行いました。

期間中は500円で体験できる寄植教室や、ガーデン講座、ガーデンライブなど各種催しも行われ、大盛況のイベントとなりました。

今回参加し、一般のお客様が園芸に対して何を求めているのかを改めて考えることができました、この経験を今後の業界発展に活かしていきたいと思えます。

イベント委員会 中島商事(株) 右田 拓



豊明花きがマンデビラをPRしました



2017年 おもてなしガーデンでPRしましょう

会員の皆様ご承知のようにガーデンを考える会は、2020年のオリンピックに向けた東京都の取り組みの一環として、臨海副都心シンボルプロムナード公園における「おもてなしガーデン」に2014年から3年連続で参加しております。

これまで同様、2017年も6月～9月にかけて花壇の展示に向けた計画を作成中ですが、会員の皆様からの植物や、関連資材のご提供を取り入れた計画にしたいと考えています。

昨年は、「コンテナ植えのオリーブの古木」「マンデビラ」「フラワーボール」などのご提供を頂き、見映えのする花壇の作成ができました。是非、今年度も会としての取り組みですので、可能な限りご協力をお願い致します。

植物苗の他・関連資材・肥料など広く募集致しますので、ご提供いただける物がございましたら、下記までご一報をお願いします。運賃などの負担は検討できますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

五輪プロジェクト委員

- ・セキスイデザインワークス(株) 藤崎幹士
TEL: 080-3833-5298 fujisaki001@sekisui.com
- ・緑化技研 藤田茂
TEL: 090-9809-1657 s-fujita@r-giken.co.jp



昨年度 花壇作業写真(2016年6月)



新刊紹介

宿根草と低木で手軽にできる 小さなスペースをいかす美しい庭づくり

マーク・チャップマン 著

小スペースでも楽しめる庭づくりについて、ポイントや注意点をていねいに紹介。1章では、庭・玄関まわり・アプローチなどのスペース別にオリジナルのポイントを分かりやすく解説。2章では、宿根草や低木を中心に著者が厳選した狭い空間にも使い勝手の良い132種の植物を紹介。3章では、植え付けからその後のメンテナンスまで、長く楽しむ庭づくりについて、作業や季節のポイントを解説する。狭いスペースでも、季節の移り変わりを楽しみたい、庭に立体感を出したい、簡単リーズナブルなメンテナンスが知りたいという人におすすめの1冊。



判型: B5判 112ページ
 価格: 1500円+税
 発行: 家の光協会

秘蔵資料で明かされる現代園芸・緑化のルーツ 絵図と写真でたどる 明治の園芸と緑化

近藤三雄、平野正裕 著
協力/横浜植木(株)

“当時すでにこんなものがあったのか!?” 明治時代の園芸・造園の歴史的トピックスをまとめた1冊。当時、国内の園芸・造園界を牽引する役割を果たしていた、業界大手の植物商社「横浜植木」が創業当初から所蔵していた貴重な歴史的資料を豊富に紹介しながら、明治を中心に大正、昭和と、めまぐるしく近代化が進んでいった怒涛の時代に焦点を当て、時代ごとの花と緑の歩みをひもとく。▽1章「近代日本における緑花事業の萌芽と展開」▽2章「横浜を舞台とした花と緑の文明開化物語」▽3章「花と緑の文明開化を牽引した『横浜植木』の偉業。」



判型: B5判 192ページ
 価格: 3500円+税
 発行: 誠文堂新光社